



入学式



新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション



前期中間試験(1回)

## 目次

### 新年度特集

校長より	2
入学式の様子	2
副校長、各主事より	3
キャリア支援室長より、新任教職員挨拶	4

### クラス便り

1年機械工学科	5
1年電気情報工学科	6
1年電子制御工学科	7
1年物質工学科	8
1年建築学科	9

### クラブ便り

対 松江高専定期戦	10
-----------	----

### 学生会便り

学生会紹介	10
-------	----

### 地域交流

地域共同テクノセンターの紹介	11
----------------	----

### トピックス

平成24年度編入学生の紹介	12
授業参観	13
農芸化学賞	13
科学部	13

### 国際交流

南ソウル大学との学校交流	14
学生の海外での活動へ向けて	15
第6回北東アジア地域大学教授協議会でポスター発表	15
平成24年度前期行事予定	15

### 専攻科便り

専攻科長より	16
グローバル化時代の高専教育に向けて	16
編集後記	16

# 今年が高専制度創設50周年を迎えます

校長 齊藤 正美



本年度は、全国で51校（55キャンパス）ある国立高等専門学校が創設されてから50年目という大きな節目の年を迎えます。高等専門学校は5年あるいは7年の一貫教育を特長とする「中学生に開かれた高等教育機関」という意味で、世界的にもたいへんユニークな学校制度として知られています。その教育制度・教育内容や輩出された卒業生の質と力などの面で、日本の産業界はもちろん国際的にも高い評価を受けています。米子高専は、昭和39年に設立され（平成26年が創立50周年）、以来7000名以上の優秀な卒業生を世に送り出しています。全国の高専が教育目標として掲げている「実践的・創造的なエンジニア」は、科学や技術の力を利用して社会の経済的発展や人々の幸福を実現することを使命としています。科学技術の進歩、ものづくり技術の高度化、価値観の多様化、産業活動の国際化などが進むこの時代、技術者が果たすべき役割には非常に大きなものがあり、高い専門性はもちろん、実行力や広い視野をもった人材が求められています。学生諸君には、高いモチベーションと強い意志をもって勉学に励み、日頃から人間性の陶冶と人格の形成を図るよう努力してほしいと願っています。

昨年度は、まず学生のクラブ活動や課外活動の面でたいへん実りの多い年でした。鳥取県卓球新人戦で男子団体初優勝、秋期鳥取県高校野球大会では創部以来初の4強入り、全国高校総体ボート競技（男子シングルスカル）では堂々の6位入賞などの運動系クラブの活躍のほか、中国地区大会2連覇のロボコン、大臣賞受賞5年連続のデザコン、4年連続日本一を獲得したスターリングテクノロジー、第一回鳥取県中高生プログラミングコンテストで知事賞受賞などの技術系課外活動での活躍があります。また、極めつけは、第8回高校化学グランドコンテストで文部科学大臣賞（最優秀賞）、文部科学省主催第一回サイエンス・インカレ卒業研究部門での最優秀賞の受賞です。本校の学生はその他の学術研究講演会等でも各種の賞をいただいています。それぞれが、たいへん名誉なことであり、本校の誇りでもあります。学校教育が順調に行われているか否かはやはり学生や先生方が如何に活躍し、成果を上げているかが一つの目安となります。そのような意味で昨年度の学生達の頑張りはたいへんありがたい結果であり、我々の励みともなります。

米子高専の今後の50年を念頭におき、鳥取県西部地区にある唯一の工科系の高等教育機関としてますます発展できるよう全教職員とともに尽くしていきたいと考えています。

## 入学式の様子

今年も、入学式が4月5日（木）に本校第一体育館にて厳かに挙行されました。今年も、昨年に引き続き、晴天に恵まれ、文字通り「晴れの入学式」となりました。入学生数は、本科計208名（内訳：機械工学科44名、電気情報工学科44名、電子制御工学科40名、物質工学科40名、建築学科40名）、専攻科生27名、編入学生5名、留学生2名です。





## 副校長より

物質工学科 小田 耕平

本校の2つのJABEE技術者教育プログラム(建築学プログラムと複合システムデザイン工学プログラム)は、昨年度の認定審査を経て本年5月に2011年度認定プログラムとして正式に認められました。これらの技術者教育プログラムは、大学の4年間の教育課程に相当する本科4、5年と専攻科1、2年のカリキュラムから構成されています。この認定により、本校の教育プログラムは教育の質が水準を満たしており、技術者として必要な知識や能力の育成ができていて、国際化社会に対応したものであることが認められたことになります。そして、建築学プログラムと複合システムデザイン工学プログラムのいずれのプログラムにおいても、2012年3月以降に専攻科を修了し学士の資格を取得した修了生は、JABEE修了生となり技術士補となる資格を持つことになります。今後は、これらの教育プログラムの質の向上と継続的な改善を進めていくことにしています。

なお、JABEEとは日本技術者教育認定機構のことで、大学等の高等教育機関が行う技術者を育成する専門教育プログラムの審査・認定を行うNGO(非政府団体)です。この認定は、我が国の技術者教育の国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の振興を図り、国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的としています。詳しいことは、JABEEのホームページ(URL:<http://www.jabee.org/>)をご覧ください。

■主事補：青木(C)、細田(A)



## 教務主事より

電気情報工学科 松原 孝史

今年度は、教務の努力目標として「留年生の低減」を掲げています。最近では、1、2年生の留年者が20名近くにもなり、大きな問題になっています。留年生への面談を通して、能力はありながら、予習、復習を含めた日々の授業への取り組みを疎かにして、前期中間テストでつまずき、結局やる気をなくしてそのまま留年というケースが多いように感じます。本校の学習支援のための環境は、教科担当教員によるオフィスアワーや教科別の補習、専攻科生TAによる質問受付教室、そして学生寮での勉強支援と比較的整っているように思います。不得意科目のある人は、日々の授業を大切にしたいと、これらの学習支援を大いに利用して、じっくりと取り組むことが成績向上へとつながり、結果として学生生活を充実させることとなります。少なくともテストの2週間くらい前から準備をして、後悔することがないようにしてほしいと思います。教務としても担任と連携を図って指導を強化していきたいと思っています。

また、もう一つの努力目標である「入学志願者の安定的確保と入学者の質の向上」については、従前からの入試広報、オープンキャンパス参加者増のためのキャンペーンを強化すると共に、来年度から学力試験の面接を廃止し、その代替に9教科の調査書評定を用いることにしました。この選抜方法が、力のある入学者が増える契機になればと期待しています。

■主事補：竹内(G)、森田慎(M)、川邊(G)、能登路純(G)



## 学生主事より

一般科目 森田 典幸

昨年度はインターハイ・国体・全国高専大会での入賞、全国高校化学グランドコンテスト・スターリングテクノロジー・デザコン・ロボコン・プロコンなど、文武両面において全国的な活躍があり、成果の多い年でした。今年度は本校が主管校となり、8月に中国地区で全国高専体育大会が開催され、鳥取県内では陸上・バスケットボール・剣道・バドミントンの4競技が開催されます。加えて10月にはロボコンの中国地区大会も本校が担当することになっています。地元中国地区・鳥取県において昨年以上の成果を期待するとともに、全国から集まる高専生に「鳥取県に来て良かった」、「鳥取県にまた行きたい」と思ってもらえるような大会を目指したいと思いますので、学生の皆さんには大会補助員としての協力をよろしくお願いします。

また、本年度からの新しい取り組みとして、鳥取県の白砂青松アダプトプログラムに参加し、「白砂青松そだて隊」として、昨年大雪で大きな被害を受けた弓ヶ浜半島の松林再生へ向けてのボランティア活動を実施する予定です。本校が担当する区画は弓ヶ浜展望台から少し境港寄りにあり、米子高専が管理していることを表示する看板も建てられます。本年度はゴミ拾いや草刈りを中心に下地を整え、来年度以降は植樹も実施する方向です。活動を通して地域に貢献し、松を育てるばかりでなく、地元や自然を大切にしたいと育ててもらいたいと思います。

■主事補：布施(G)、高増(A)、田中博(E)、大塚宏(M)、大野(G)



## 寮務主事より

電子制御工学科 河野 清尊

この4月から寮務主事を務めさせていただいている河野です。宜しくお願いします。4月当初より寮生には、「信頼と自覚」というスローガンのもと、「信頼される寮をつくるために、寮生としての自覚を持ち、責任ある行動をとること」をお願いしています。教員・職員・寮生間の信頼はもとより、学校からの信頼、保護者からの信頼、出身中学校からの信頼、そして、地域からの信頼を得るために、しっかりと考え行動して欲しいと思っています。

今年度は、防犯・防災および基本的生活習慣の育成に重点をおいて取り組みたいと考えています。特に、男子寮の不法侵入防止対策および勉強支援を充実させた留年対策に力を入れたいと思っています。また、6月からは各居室でのエアコンの運用が始まります。後期からは寮内でも無線LANを利用したインターネット接続が利用可能になる予定です。このような新しいインフラを、節度を持って利用できるかどうか、寮全体が試されることになります。

平成24年4月当初の寮生数は男子197名・女子57名の総勢254名で、全学生の約1/4を占めています。4月5日には、1年生の新入寮生として男子37名・女子17名、3年次編入留学生2名(マレーシア1名、インドネシア1名)および4年次編入学生3名を迎えました。これだけの寮生を、寮母を含めた13名の寮務教職員と高砂・白鳥寮長をはじめとする寮生会役員とで、一体となってサポートしてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

■主事補：宮田(E)、谷籐(C)、松崎(G)、北農(A)、松岡(E)、小林(G)



## キャリア支援室より

建築学科 玉井 孝幸

今年度も引き続きキャリア支援室長を務めます建築学科の玉井です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の就職活動は、経団連が定めた「倫理憲章」が運用され、企業説明会は12月から、採用活動は4月1日からとなりました。そのため、非常に短い期間でほとんどの企業の採用試験が実施されるようになり、就職活動は短期決戦と変わりました。就職活動に時間を取られることなく勉学にはげむことができる反面、活動のスタートが遅かったり、準備が不十分であったりすると、たちまち苦しい活動となると思われます。それでも内定率でみると、文系に比べ理系は有利でありますし、特に高専生は企業からの評価は高く、大学生に比べさらに有利です。

今年度は「学科が薦める資格ガイドブック」を製本し、配布します。就職を有利に進めるためにも、より多くの資格を取得することを進めます。通常の勉強に加え、資格取得の試験勉強をすることは大変ですが、社会に出て行くことを考えると取得しやすいはずで、履歴書に取得した資格を記入できるように頑張ってください。

キャリア支援室では、大学説明会、企業説明会、オープンファクトリーなど、学生のキャリア形成に役立つように支援してゆきますので、よろしくお願いいたします。

■キャリア支援副室長：原（G）

## 新任教職員挨拶



一般科目  
准教授 能登路純子

本年度、静岡の沼津高専から人事交流で参りました。一般科目（英語）を担当致します。同じ高専でも様々な違いがあって戸惑うことも多いのですが、中学・高校時代を過ごした、この愛着ある米子で仕事ができますことを嬉しく思っています。よろしくお願いいたします。



一般科目  
講師 小林 玉青

前職は大学の博士研究員で、研究の専門分野は理論物理（素粒子論）です。これまで高専の非常勤講師も務めて参りましたが、今後は常勤職として米子高専に着任できた幸運を、皆様に還元して参りたいと存じます。



電子制御工学科  
助教 角田 直輝

社会人としても教員としても新人で、高専も米子も、ついでに一人暮らしも初めてと、初めてつくしの新鮮な毎日を送っております。学生さん達が電子をより身近に感じられるように粉骨碎身の思いで頑張っております。



物質工学科  
助手 藤井 貴敏

この度、物質工学科に着任しました藤井貴敏です。私は本校を卒業後、広島、横浜の大学へ進学し、化学工学、環境工学について学んできました。自分の経験と知識を生かし、本校に貢献できるように取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課主任  
近藤 剛志

鳥取大学施設環境部から転任して参りました。専門は建築設備（機械）ですが、オールマイティに施設全般の企画・運営・管理を担当いたします。よりよい教育研究環境の実現に向けて頑張ります。よろしくお願いいたします。



総務課  
福田 真子

この度、鳥取大学総務企画部から転任してまいりました。前職でも人事関係の業務を担当しておりましたが、現在は、より幅広い知識を必要とするため、色々ご指導いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課  
落合 雅己

この度、総務課総務係で勤務することになりました。出身は米子市で、大学の4年間愛媛で暮らし、米子市に戻ってきました。米子高専での仕事は初めてのことがばかりですが、少しずつ慣れてきました。これから頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



学生課  
河井 千枝

4月から教務・キャリア支援係に勤務しております河井千枝です。初めての職場というだけでなく、子供のころから日本史が好きで工業系とは無縁な生活をしてきたので、米子高専での毎日は新鮮なことばかりです。精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



学生課  
近江 治良

学生課事務係としてお世話になっております。おうみじろです。どうぞよろしくお願いいたします。寮生の皆さん、どんなことでも相談に来てください。いっしょに解決しましょう。



技術教育支援センター  
松本 充

本年度より技術教育支援センターに勤務しています。私は本校の平成元年の卒業生で、卒業後もモットを通じて学生達と活動しています。これまでの経験を生かし教育、課外活動へ貢献できるよう取り組んでまいります。



技術教育支援センター  
技術専門職員 加納 史朗

この度、広島商船高等専門学校から転任してきました。私は旧西伯町の出身で、米子は慣れ親しんだ場所でもあります。前職場では、主に情報関係の業務に携わっていましたが、その経験を生かし、少しでも米子高専に貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



# 1 年 機 械 工 学 科

## クラスデータ

学生数 44名(男41、女3)  
寮生数 13名

(鳥取中部6、鳥取東部3、島根県2、兵庫県2、愛知県1)



## 大山オリエンテーションに参加して 加藤 勇太

大山でのオリエンテーションを通して、今まで話した事がない人と少し話せるようになった事が1番の収穫だと思いました。これから5年間も一緒に学校生活をしていく仲間を作っていく事は本当に大切だと思います。そして、高専についてもいろいろと知る事ができました。何のために生徒ではなく学生と呼ばれるのか、自分はこれからいったい何をしていくのかを学べた良い時間だったと思います。

また、専攻科生の先輩の講演を聞いて、これから何をしたら効率よく5年間を過ごしていけるかなどを知る事ができました。先輩の「目標を立てれば、目標を立てないよりも目標に近づく事ができる」という言葉がとても印象に残りました。

## 高専に入学して 須藤 成美

入学当初は、お通夜のように静かな教室で、何ともいえない空気でしたが、今となっては大変明るく、活気のあるクラスとなりました。授業中も笑いが絶えず、先生方に若干(?)の迷惑をかけてしまう程です。しかし、クラスの空気はいつも和やかで、全員の個性が生きているクラスだと思います。僕には文才がないので、うまく表現ができませんが、個々に個性がありながらまとまりのあるクラスだと思います。

入学時は不安だらけでしたが、日が経つにつれて学校が楽しくなってきました。今では1週間があっという間に過ぎてしまいます。これから、様々な事があると思いますが、今の良いクラスの雰囲気でごじていけたらと思います。

## 担任インタビュー

機械工学科  
早水 庸隆

### このクラスの特徴を教えてください。

とても活気のあるクラスです。そして、一人一人が積極的であり、クラス役員もそれぞれが立候補して決まりました。今後が期待できるクラスだと思っています。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

高専卒業後もクラス全員が仲間となる友人関係を築いてもらいたいです。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

「何々はできない、苦手だ」という思い込みは捨てて下さい。やってみればできることは山ほどあります。



# 1 年 電 気 情 報 工 学 科

## クラスデータ

学生数 46名(男41、女5)  
寮生数 5名  
(鳥取中部3、鳥取東部1、島根県1)



## 米子高専に入学して

足立 奈々美

米子高専に入学してから一ヶ月以上たちました。入学当初は気軽に話せる友達もおらず、分からないことも多かったので、不安で胸がいっぱいでした。教室もとても静かで、空気がとても重かったです。

しかし、大山オリエンテーションをきっかけに、話したことのなかった人と話せたり、友達ができたりしました。クラスの雰囲気もそれまでとは違って、とても明るくなりました。今ではお互いに冗談が言い合え、教室はいつでも笑い声が絶えません。

これから先、楽しいことだけでなく、辛いことや大変なこともたくさんあると思います。そんな時はクラスの仲間を信じ、協力し合って乗り越えていきたいと思っています。

## 米子高専に入学して

石倉 直樹

高専に入学して早くも一ヶ月以上が過ぎました。入学式当日、教室に集まった時は、みんなまじめで静かな感じでした。中学校とは全然違い、こんな空気でも5年間もやっていけるのだろうかと思不安をいただきました。しかし、大山オリエンテーションを経て、次第にみんなが話せるようになってきました。今となれば、休憩時間にみんなで話すのが当たり前となっています。それからは不安も少しずつ消えていきました。

しかし、勉強の方では、ペースが速くてなかなかついていけません。予習復習を行い、文武両道のできる学生になるため努力を欠かさず頑張っています。

楽しい時も辛い時も、クラスのみんなで分かち合い、充実した学生生活を送ってみたいです。

## 担任インタビュー

一般科目(英語)

中井 大造

### このクラスの特徴を教えてください。

元気で明るいクラスです。真面目さも持ち合わせていて、掃除や週番の仕事もきちんとでき、友達同士が打ち解け合って和気あいあいと過ごしています。クラスの人数が46名で教室が狭く感じます。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

高専生活に慣れてきたら、勉強にも一層の意欲を持って臨んでもらいたいと思います。お互いを思いやり、助け合い、励まし合って学校生活を送ってってもらいたいと思います。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

今の自分に決して満足せず、常に今の自分より向上した自分を目指してもらいたいと思います。将来の自分の姿をイメージし、一日一日の積み重ねがそれに直結していることを自覚して毎日を過ごして欲しいと思います。人が話している時はじっと耳を傾け、自分の意見を持ち、それを人前で述べる必要がある時は勇気を持って述べるができるような人になってもらいたいと思います。





# 1 年 電子制御工学科

## クラスデータ

学生数 42名(男40、女2)  
寮生数 11名

(鳥取中部5、鳥取東部3、島根県2、岡山県1)



## オリエンテーションを終えて

山口 翔太

僕は「高専」という「高校」とは少し違った学校に、不安を募らせながら入学しました。学校を選んだときは、ロボットについて勉強できる、関連の仕事に就けるという思いでした。しかし、いざ入学というときには、先輩には私服の方もいらっしゃるけど大丈夫かな、中学のときみたいに小学校からの友達は同じクラスにはいないけど大丈夫かな、と思うようになりました。

確かに、最初の1、2週間は、周りに話せる人もおらず、途方にくれていましたが、オリエンテーションが終わったあたりから、そのときのルームメイトと話せるようになり、学級委員の役職も手伝って、今ではある程度話せるようになりました。

高専での生活は始まったばかりですが、友達をもっと作って5年間を楽しみたいと思います。

## 高専に入学して

但井 友美

私は寮生で、4月から今までと全く違う新しい環境で生活をしています。入学して間もない頃は、勉強のこと、クラスのこと、寮のことなど、不安でいっぱいでした。特に、クラスの女子が2人しかいないと知ったときは、5年間もこのクラスでやっていけるのか、とても不安でした。私は人見知りで、ましてや男子としゃべるなんてとてもできない人でした(笑)。でも、話しかけてくれる人がいて、案外話してみるとすんなり会話ができて大分クラスの雰囲気にも慣れてきました。

寮の行事や部活、勉強もしないといけないし、忙しいですがとても楽しい毎日を送っています。寮でも部活でも尊敬できる素敵な先輩方がいて、優しくしてくれる友達がいて、私も頑張ろうと思えます。

たくさんの人の支えを受けて、5年間で大きく成長したいです。

## 担任インタビュー

電子制御工学科  
井上 学

### このクラスの特徴を教えてください。

授業や毎日の掃除、放課後の様子などから、明るく元気で、責任感のあるまじめな学生が多いように思います。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

クラスのことだけでなく、一人ひとりのことにも一丸となって協力して取り組むことができる、そんなクラスになってもらいたいです。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

5年という月日は長く、様々なことにチャレンジできます。何事にも前向きに取り組み「高専入学の意義」を探し出してください。焦らず、ゆっくり、自分のペースでかまいません。必ず見つかるはずです。



# 1 年 物 質 工 学 科

## クラスデータ

学生数 43名(男24、女19)

寮生数 11名

(鳥取中部4、鳥取東部4、岡山県2、兵庫県1)



## 高専に入学して

松井 千佳

高専に入学して一ヶ月がたった。最初の頃はあまり話す人のいない静かなクラスだった。でも、大山オリエンテーションを通し、クラスの人同士がうちとけて、少し騒がしい元気なクラスになった。私も大山オリエンテーションで自由時間に同室だった人達や同じクラスの人達と話し、相手のことを少し知り、話しやすい友達ができた。オリエンテーション後、友達とクラスで過ごしているうちに他の人達とも話せるようになった。

部活内でも、他のクラスの人と話したりできるようになった。クラスによって違う雰囲気があり、他クラスの話聞くことは面白かった。また、先輩方が優しく、面白いので部活が楽しく感じる。

高専での生活に慣れて、楽しいと感じることが多くなったけど、まだ時々学校内で道に迷ったりすることがあるから、できるだけ早く校内のことも覚え、これからの高専生活を楽しんでいきたい。

## 高専に入学して

三上 大貴

高専に入学して1ヶ月が過ぎ、高専生活に少し慣れてきたところです。まだ校舎内を迷うことが少しあります。高専の授業は難しく、僕の中では特に数学が難しいです。ですが、友達に教えてもらったり先輩に聞いたりするのでまだなんとかがいいていきます。

僕は今サッカー部に入部していますが、練習は厳しく、一年生は片づけもあるので、帰りはいつも8時ごろになります。僕は小学生からサッカーをしています、まったく先輩には歯が立ちません。ですが、先輩が指導してくれるのでとても助かります。

まだ勉強と部活を両立できていないと思うのでこれから前期中間試験、期末試験とありますが、気を引き締めて頑張っていきたいとおもいます。

## 担任インタビュー

物質工学科

田原 麻里

### このクラスの特徴を教えてください。

明るく元気なクラスです。そして、一人一人が週番やクラス役員の仕事を積極的にこなして、クラス全体に貢献してくれています。

### どんなクラスになってもらいたいですか？

集団生活での最低限のルールを守って、お互いが快適な学生生活を送れるようなクラスを作っていってみたいです。

### 最後にクラスの学生にメッセージを。

5年後に全員そろって卒業できるよう、お互い助け合い切磋琢磨しながら、5年間の高専生活を有意義に過ごしていってください。





# 1 年 建 築 学 科

## クラスデータ

学生数 41名(男20、女21)  
寮生数 14名

(鳥取中部5、鳥取東部2、島根県3、岡山県3、大阪府1)



## オリエンテーションの感想

本池 紫織

私は入学式からなかなか周りの人と話す事ができず、これから5年間でちゃんと過ごすことができるのか、とても不安な気持ちだったので、オリエンテーションの間に必ず友達を作ろうと思っていました。ガイダンスで一人していると、「隣に座っても良い？」と話しかけてくれる人がいて、その人といろいろな話を話してから、他の人達とも気軽に話せるようになって、5年間楽しく過ごせそうだと思えるようになりました。親に電話をかけ、「友達も沢山できたし、なんとかやっていけるよ」と言うと親もとても喜んでいました。それからは、いろいろな活動など通してクラスの人と親睦を深める事ができ、勉強の話や先輩の話などもためになったので、この一泊二日があって本当に良かったです。学級委員としてもきちんと取り組んでいきたいと思っています。

## 大山オリエンテーション

小川 祥吾

僕が大山オリエンテーションで得たものは、やはり友達ができただけです。オリエンテーションの前までは、寮で同室の人など少しの人としか話す事がありませんでしたが、大山では同じ部屋の人など寮生以外の人とも話すようになりました。

クラス会ではフルーツバスケットなどで交流して楽しかったです。一生懸命クラスの名前を覚えようとしたのですがそのときは余り覚える事ができませんでした。大山散策や食事のときなども、それまで話した事の無い人と話す事が出来ました。そのときはしっかりと話す事が出来たけれど、これからはもっと話したいと思っています。

OGの方の話ではまだよく知らなかった米子高専建築学科について詳しく教えて頂きました。オリエンテーションで学んだ事を生かして、これから頑張っていきたいと思っています。

## 担任インタビュー

一般科目(数学)

大庭 経示

このクラスの特徴を教えてください。

思いやりを持った優しいクラスです。ときには控えめすぎると感じることもありますが、これからだんだんと元気にもなってくれるでしょう。

どんなクラスになってもらいたいですか？

男子も女子もだれもが仲の良い居心地の良いクラスになって欲しいと思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

環境も変化して、皆さん自身も変化する事があると思いますが、変化を恐れしないで下さい。新しい生活や新しい自分を楽しんで下さい。



## クラブ便り

### 対松江高専定期戦

5月12日（土）、13日（日）に松江高専との第47回定期戦が米子・松江の両会場にて行われました。

**総合成績**  
**米子高専**  
**4勝10敗**

	米子高専		松江高専
バレーボール男子	0	－	2
バレーボール女子	2	－	0
柔道	1	－	2
剣道	1	－	4
	1引分		
野球	4	－	8
テニス	3	－	0
バドミントン	0	－	3
バスケットボール男子	44	－	95
バスケットボール女子	39	－	44
ソフトテニス	1	－	2
サッカー	2	－	3
卓球	3	－	2
水泳	30	－	34
ハンドボール	40	－	6



野球部



ソフトテニス部



バスケットボール男子部



剣道部



柔道部



卓球部

## 学生会便り

### 今年度の学生会紹介

学生会長 5M 植田 健斗

今年度、学生会長を務めさせていただきます5年機械工学科の植田健斗です。

学生会では、現在までに学生総会、新入生へのクラブ紹介を実施し、5月中旬には対松江高専定期戦のサポートなどを行ってきました。今後も球技大会や文化発表会、オープンキャンパスなど様々な行事が控えていますので、学生会として精一杯取り組んでいきたいと考えています。また、11月に予定しています高専祭では、学生の皆さんと地域の方々が心より楽しめる行事にしたいと考えていますので、学生会役員一丸となって高専祭の企画・運営にあたっていきたいと思っております。

これらの活動を通して米子高専の学生一人ひとりが、有意義で思い出に残る学生生活を送れるよう学生会一同努力していきますので、皆様の応援・ご協力をお願いいたします。



## 平成23年度 学生表彰および資格試験合格者(追加)

昨年度の学生表彰および資格試験合格者に追加がありました。

—優秀賞—

学科	学年	学生氏名	大会等の名称	成績
S	1	山崎 翠	日本機械学会中国四国学生会 第42回学生員卒業研究発表講演会	優秀発表賞
S	2	松本 純平	日本機械学会中国四国学生会 第42回学生員卒業研究発表講演会	優秀発表賞

—資格取得—

学科	学年	学生氏名	資格名	取得級
D	2	絹田 翔平	実用英語検定	準2級

\*学年は平成23年度のものであります。



# 地域共同テクノセンターより

地域共同テクノセンター長 電気情報工学科 新田 陽一

## ■ センター長就任にあたって

初めて担当する校務であり、右往左往する毎日です。周囲に助けられながらですが、前センター長を始め、歴代スタッフが築いてこられた牙城をしっかりと守り、さらに発展させていくように努めたいと思います。

さて、地域共同テクノセンターは、本校の産学官連携および地域貢献の窓口として、様々な活動を行っています。学生諸君とは直接係わる機会が少ない部署ですが、ここ数年は高専機構の「企業技術者等活用プログラム」の補助を受けたり、鳥取県の「人材育成事業」と連携して、第一線で活躍中の技術者による授業や講演の機会を提供しています。最先端の技術に触れることによって、学ぶ意識を一層高めてもらえれば幸いです。



スタッフ一同

## ■ その他のスタッフ

副センター長 加藤 博和 (G)

センター長補 前原 勝樹 (A)、権田 英功 (E)

総務課企画・社会連携係 田中 大輔、中村 憲行

産学連携コーディネーター 足立 新治、藤井 和紀、西本 弘之、梅林 智美

教育コーディネーター 真野 博光



企業技術者等活用プログラムによる授業

## ■ 主な業務

### ① 産学官連携活動の推進

共同研究や外部資金導入の推進、研究シーズ集などの発行、技術相談の受付

### ② 情報発信の推進

研究成果や産学官連携活動の発信、HPや各種メディアによる情報発信

### ③ 地域共同教育の推進

人材育成事業や外部連携講座の推進、企業技術者などを活用した教育の推進

### ④ 地域連携・地域貢献活動の推進

公開講座・出前講座・ジョイント講座などの開講



振興協力会企業見学会

## ■ 平成24年度の地域貢献事業

月	日	イ ベ ン ト	対 象	場 所
5	26 (土)	【文化セミナー】「建物内の熱のふるまい」	一 般	米子市公会堂
6	30 (土)	【文化セミナー】「米子まるごと文学館 古典篇」	一 般	米子市公会堂
7	21 (土)	【公開講座】親子ふれあい科学教室	小学5・6年生と保護者	米 子 高 専
7	28 (土)	【公開講座】親子で楽しむロボットづくり教室	小学4～6年生と保護者	米 子 高 専
7	28 (土)	【公開講座】家庭発！リサイクル&エコ工作を体験しよう	小学3・4年生と保護者	米 子 高 専
7	29 (日)	【公開講座】やさしいマイコン・プログラミング入門	中学生	米 子 高 専
8	10 (金)	オープンキャンパス(学校見学会)	中学3年生	米 子 高 専
8	11 (土)	【公開講座】色ガラスで”キラキラ”インテリアグッズをつくろう	小学4年生～中学3年生 (保護者参加可)	米 子 高 専
8	22 (水)	エンジョイ科学館	中学生	米 子 高 専
夏	未 定	【公開講座】iPad/iPhone向けアプリケーション開発入門	一般(中・高校生可)	米 子 高 専
9	1 (土)	企業見学バスツアー	中学生 (保護者同伴のこと)	大 山 乳 業 大 谷 酒 造
9	2 (日)	【公開講座】楽しいマイホームづくり	中学生(保護者参加可)	米 子 高 専
9	8 (土)	【公開講座】レゴ・ブロックによるコンピュータロボット入門	小学5年生～中学3年生	イオン日吉津
9	15 (土)	【公開講座】マイコンを使ったボール・シューターを作ってみよう	中学生	米 子 高 専
10	27 (土)	【文化セミナー】「生物学今昔」	一 般	未 定
11	17 (土)	オープンキャンパス(学校見学会)	中学3年生	米 子 高 専
11	24 (土)	【文化セミナー】「私たちを取り巻く水環境」	一 般	米子コンベンションセンター

## 平成24年度 編入学生の紹介

3M MOHAMAD MUSTAPHA BIN YUSUF  
(ムスタファ) 【マレーシア出身】

はじめまして。私の名前はムスタファです。誕生日は8月なので、今は19歳です。私の育った町はマレーシアのサレワク州のクチンと呼ばれる町です。クチンにはぎやかな町ではなく、森がたくさんあります。その森の中には、世界一大きな「rafflesia」という花があります。私はサッカーをすることが好きです。マレーシアでも友達といつもサッカーをしていました。そして、ときどき、ホッケーもしました。マレーシアではサッカーとホッケーが有名なので、ルールはわかります。

私は飛行機が好きなので、機械を勉強するために米子高専の機械工学科にきました。将来は航空技師になりたいです。日本の工業はとて素晴らしいので、日本でたくさんの知識を得て、信頼されるエンジニアになりたいです。そのために、米子高専で一生懸命勉強したいと思います。よろしくお願いします。

3C MUHAMMAD FADHLIL  
(ムハンマド) 【インドネシア出身】

はじめまして、ファドルルと申します。インドネシアから来ました。日本に来たのは去年の4月15日でした。約1年間、東京日本語教育センターで日本語を学んで米子に来ました。

インドネシアと日本はいろいろな共通点がありますが、相違点もあります。まず、共通点は主食、景色と人の優しさです。主食はごはんと同じですが、日本のごはんは美味しいと思います。あまり大きくない町や村に住んでいたら、特に景色が美しく、自然を眺めると気持ちが良くなります。日本に来てから、人の優しさを感じています。例えば、迷子になっても、周りの人や警察に聞くと、いつも優しく説明してもらえるので、目的地に行けるようになりました。

また、相違点は季節、交通機関と物価です。日本の季節は4つありますが、インドネシアには2つしかありません。冬になったら、非常に寒くて時々困りますが、雪を見てから、困っていることを忘れるようになりました。日本の交通機関はどこでも行けるので、とても便利だと思います。物価はインドネシアの約5倍です。しかし、やっぱり日本の食べ物おいしいです。

これから、インドネシアと日本の相違点にたくさん出会うと思います。日本に住んでいると慣れてくると思いますので、頑張っていきます。

4M 境 太智  
【文徳高等学校(熊本)出身】

私は、クマモンで有名な熊本県の文徳高校から来ました。境 太智です。中学ではソフトテニス、高校では茶道部に所属していました。編入してきて2ヶ月が経ち、高専での生活になれてきましたが、まだわからないことなどが多々あり、迷惑をかけることがあるかもしれませんがよろしくお願いします。

趣味は、テニスやバドミントン、ゲーム、読書です。寮生なので、違う科の人でも会ったら気軽に声をかけてください。頑張っていきたいと思うのでよろしくお願いします。

4M 清水 友哉  
【大阪市立都島工業高等学校出身】

はじめまして、私は大阪の都島工業高校から専門の勉強をより深く勉強したかったので米子高専に編入して来ました。

高校では3年間、軟式野球をしていて、ポジションはレフトでした。米子に来る前は不安でいっぱいでしたが毎日楽しく過ごせています。目標は部活動と勉強を両立させることです。そのために何事にも一生懸命に頑張っていきたいです。

4E 添田 圭佑  
【鳥取県立米子工業高等学校出身】

はじめまして、米子工業高校から編入してきました添田圭佑と申します。学科は4年の電気情報工学科です。米子高専での目標は、人間としての成長と電気についてさらに深い知識を得ることです。興味のある分野は、主に圧電素子などの材料系の分野や、送電や配電などの高圧を扱った分野などです。今は5年での卒業研究に向けて基礎を固め、努力していきたいです。

最初は4年からの編入なので授業についていけるのか、クラスメートとコミュニケーションが取れるのかなど不安がありましたが、今は雰囲気にも慣れてきたので安心して学校生活が送れると思います。短い間ですがどうぞよろしくお願いします。

4C 小原 大輝  
【大阪市立都島工業高等学校出身】

初めまして、大阪の都島工業高等学校から来ました小原大輝です。高校では、主に化学と物理を専攻していたので物質工学科に編入しました。それから寮生なので寮で会えば気軽に話し掛けて下さい。

最初、私は勉強についていけるのかとかクラスに馴染めるかなどの不安がたくさんありました。でも、クラスみんなに温かく迎い入れてもらい、授業で分からないところがあれば先生やクラスみんなに教えてもらいとても良い学校そしてクラスに編入してきたのだなと思いました。勉強はあまり得意ではないので、これから精一杯頑張っていきたいと思います。

4A 上田 信良  
【鳥取県立米子工業高等学校出身】

この度米子工業高校から、こちらの建築科の4年生に編入してきました、上田信良と申します。現在、編入してから早2ヶ月が経ち、少しずつ授業や学校にも慣れてきたと思います。

高専の授業は工業よりも進んでおり、よくわからないことが多々あり、環境が変わったのだということを、改めて実感しています。4年から5年生と一緒にやるゼミというものがあると知り、少し不安だったのですが、同じゼミの同級生も先輩方も先生も皆いい人で、安心しました。製図の進行度の差は、工業の先生方から伺っていたのですが、実際に課題などが出されてから、ようやく思い知りました。まだ知識が少なく、いろいろと戸惑うことも多いと思いますが、これまでと気持ちを切り替えて進んで行こうと思います。



## 参加者倍増！授業参観

教務主事 松原 孝史

ゴールデンウィーク中の5月2日(水)に1～3年生の授業を対象に授業参観を実施しました。保護者の皆さんに本校の教育活動を広く知っていただくことを目的に、昨年度から行っています。昨年度は12月ということもあって参加(受付)された方が46名でしたが、今回は117名に倍増しました。増加の理由は、新年度早々で1年生の保護者の方に興味を持っていただいたこと、大型連休後半の前日で遠方から寮生を迎えに来られるタイミングと合っていたこと、気候が新緑の好季節であったことなどが挙げられます。

また、内容的にも、安全対策が整った一部の実験・実習や、1年生の合同ホームルームでの物理や数学の勉強方法の講話などがあり、バラエティーに富んだものとなっていました。これも、好評をいただいた理由の一つと考えられます。合同ホームルーム会場では、20名くらいの保護者の方が最後まで熱心に参観されていたのが印象的でした。

参観者のアンケート結果からも、99%の方が参加してよかった、93%の方が今後も継続を強く要望されていることが分かりました。まずは、皆様のご意見を参考に、さらに充実した授業参観となりますよう、改善工夫を加えながら続けていくことが大事ではないかと思っています。



授業風景



1年生合同ホームルーム参観者



建築模型の説明を受ける参観者

## ジュニア農芸化学会2012で金賞受賞

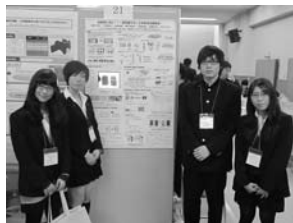
B&C研究同好会 4C 重永 皐月、4C 安部 希綱、3C 遠藤 未来、3C 大江ひかる

物質工学科 谷藤 尚貴

昨秋に本学科学学生が文部科学大臣賞を受賞した高校化学グランドコンテストは、「化学の甲子園」と呼ばれています。一方で、3月末に行われるジュニア農芸化学会は「化学の甲子園春の大会」と名付けても良い、全国の高校生(+3年以下の高専生)がライフサイエンスに関する様々な研究成果を競い合う研究集会です。6回目の開催となる今回は、京都女子大を会場に過去最大の65件の発表が行われ、同日開催されていた農芸化学会の本大会に負けず盛り上がりを見せました。その中で食品廃棄物の卵殻を素材として用いることで太陽電池を改良するという研究発表を行った4名の学生は、最も多い得票数で最高賞である金賞の栄誉を手に入れました。昨年度の研究メンバーの努力が最後まで結果で報われたことに喜びを感じるとともに、今後も学生の自主研究が次の世代に引き継がれ発展していくことを期待しています。

### 3C 安部 希綱

本大会は自分と重永さんにとっては高校生としての最後の学会だったので、いつにも増して「絶対一番良い賞をとってやるぞ!」という気持ちが強く、春休みの期間は準備を入念に行いました。また、今回の大会は引き継ぎも兼ねて新たに2年生の遠藤さん、大江さんが加わった編成となりましたが、本番では上級生は下級生のプレゼンをサポートしながら、自分らの研究成果の要点を説明することと質問に応える役割をきっちりとこなし、聴衆に分かりやすい発表ができたと思います。その結果、最も良い賞である金賞をとることができ、その場にいたメンバー全員で喜び合うことができました。最後に、本大会に向けて一緒に頑張ってきた3名に加えて、これまで一緒に電池の研究を行ってきた同級生、そして谷藤先生にこの場を借りて感謝を申し上げたいと思います。



## 科学部が日本天文学会で研究発表しました!!

3C 川上 優太

科学部は今春3月20日に京都の龍谷大学(深草キャンパス)にて開催された日本天文学会ジュニアセッションで2つの研究成果について口頭とポスター発表を行いました。

最初の発表は「皆既月食時の月面の色温度」で、2011年12月10日～11日にかけて起こった皆既月食の観測データを元に解析を行なったものです。色温度は、黒体(鉄等)を加熱した際に放射される色と観測対象の色を比較して観測対象の温度を求めるものです。私たちは分光観測によって得られた皆既月食中のスペクトルのデータを用いて、この色温度を求めました。結果として、色温度はおおよそ1900Kであることが分かりました。

次の発表は「H $\alpha$ 線による黒点の3分振動の検出」で、2011年9月13日、15日の2日間に、同一の黒点観測データの解析を行なったものです。3分振動は、周期3分で起こる黒点上部の彩層明滅のことです。また、H $\alpha$ 線とは電離した水素原子の発する輝線スペクトルで、この光を観測することで太陽の彩層の様子を観測できます。私たちは太陽黒点のH $\alpha$ 線の観測で得た画像データを解析し、3分振動の検出を試みました。結果は成功で、非常にはっきりと3分振動が現れていました。

ポスターセッションでは大学教授からスカウトを受けた部員もあり、よい発表であったと思います。本ジュニアセッションには多くの高校が参加していた他、タイ王国からの発表者もあり、前夜に京都コンピュータ学院にて開かれた交流会で親睦を深めました。全体を通し、研究・発表の場として、また交流の場として、とても有意義な2日間でした。



龍谷大学深草キャンパス正門にて

## 南ソウル大学校（韓国）との学校交流

特任主事（国際交流等） 香川 律

昨年の「海道をゆく～世界の平和と環境を考える研修～」(2011.7.8) 学校交流（米子高専－南ソウル大学校）の答礼と、将来の、海外工場見学旅行や海外研修旅行の実現に向けた調査・検証のため、学生会役員を中心メンバーとする本校学生代表4名及び引率教職員2名が、2012年4月28日（土）～5月4日（金）、3年前に就航したDBSクルーズ・フェリーを利用して訪韓し、南ソウル大学校（忠清南道天安市）と学校交流を行いました。今回の交流プログラムは、南ソウル大学校・安秉杰（アン・ビョンコル）先生の授業参観（「日本語言語実習」）や特別授業（「めっちゃ簡単・韓国語の文字」）、現代（ヒョンデ）系列でキムチ冷蔵庫では韓国No.1シェアを誇るWINIA工場見学、そして景福宮や独立記念館など文化・歴史資料施設の見学等々で、派遣学生は、南ソウル大学校の学生の皆さんと終日行動を共にし、当初一日を予定していたホームステイも先方のご好意で三日に増やして頂くなど、短い滞在期間ではありましたが、異文化体験を通じ、グローバルに通用する人の在り方について、深く考える機会となったようです。



南ソウル大学生と帰りの東海港で

## 南ソウル大学校との学校交流を終えて

学生会副会長 A5 吉田 千紘

米子高専の学生代表の一人として、南ソウル大学との学校交流に参加しました。文化施設の見学では、独立記念館や景福宮などを見学し、日本では知ることのできない両国の歴史を知り、衝撃を受けるとともにその事実について南ソウル大学の学生と意見交換することができました。訪韓にあたり言葉の問題が気がかりでしたが、日本語学を学んでいる南ソウル大学の学生のほうから積極的に声をかけてくれました。また、私たちはお互いの言語をベースにしながら時には英語も混じえ会話をしました。そのため、相手が何を伝えたいかを考え、しっかり話を聞くということ自然而然に行っていたのではないかと思います。南ソウル大学の学生と交流中はずっとホームステイさせて頂き、大学のゲストルームに宿泊しては体験できない経験をしました。ホームステイを受け入れてくださった韓国の学生、家族の方々にはとても感謝しています。私たちはこのような充実した交流会ができたのは安先生、沢山の関係者の方々の気遣いや配慮、多くの準備のおかげだと感じています。本当にありがとうございました。今回の交流を通じて関わった南ソウル大学の学生と今後も関わりを持ち、この繋がりを大切にしていきたいと思っています。



独立記念館の見学

## 南ソウル大学校との学校交流を終えて

学生会広報局長 A5 高下 義博

今回の学校交流では、主に日本語学科一年生と一緒に韓国の文化施設の見学・視察をした他、三日間のホームステイを受け入れて頂きました。特に私は昨年研究室の活動で9月にロシア・ウラジオストク市にある極東連邦大学に出かけ、鳥取県日口協会がシベリア抑留で亡くなった日本人を鎮魂するため敷地内に設置した平和祈念像（仏像）に屋根を掛けるプロジェクトにも参加しましたが、その時はホームステイがなく、またプロジェクトに参加した学生が10人を超える規模だったので日本人同士で固まることが多く、極東連邦大学の学生と交流する機会が少なかったのですが、今回の学校交流では、一期一会の精神で特定の学生とばかり話すのではなく、できるだけ多くの学生と話すことを目標に言葉の壁に囚われることなく日本語・韓国語・英語を交えながらたくさん会話できました。韓国で友達になった学生とは今でもfacebookやskypeを通じて交流を続けています。今回企画していただいたスタッフの方々、引率の先生方、安先生に深く感謝します。



安先生の授業参観



## 学生の海外での活動へ向けて

技術教育支援センター 技術専門員 上田 輝美

学生代表の南ソウル大学校への訪問、学校交流に係る教育技術支援のため、同行しました。韓国はもとより海外が初めての学生もあり、彼らが有意義に、安全に、活動できるよう、訪問へ向け、必要最低限の韓国語の講習を行いました。もちろん、これで十分ではなく、不安は多少ありました。しかし、それは杞憂であったと、すぐに分かりました。彼らはあっという間に打ちとけ、互いの国の言葉を教え合いながら楽しく歓談する姿に、学生の臆することのない柔軟性だけでなく、交流には言葉や文化、背景をも超えるだけのもっと深い力があるのだと、感じずにはいられませんでした。世界はますますグローバル化しています。その中で、独自性を維持するのは困難なこともあります。今回、「キムチ冷蔵庫」を開発したWINIA社を訪れることができました。キムチという独自文化を誇りとし、技術者として、現代に生かし続けていく姿勢を、学生も感じたことと思います。グローバル人材に必要な能力の一つとして「専門性」があげられますが、ものづくりは、日本、そして高専の誇れる専門性です。今回の訪問をきっかけとし、米子高専ならではの交流や学生の教育・技術の国際化につながり、また、技術者としてそれを支援できることを、願います。最後になりましたが、今回の訪問に際し、大変温かいおもてなしを頂きました南ソウル大学校の安先生と学生の皆さま、そして、ご協力いただきました本校の関係各位に、この場をお借りし、あつくお礼申しあげます。



WINIA社の工場見学

## 第6回北東アジア地域大学教授協議会でポスター発表

特任主事（国際交流等） 香川 律

第10回及び第11回「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」合意に基づき、平成19年10月29日（月）、30日（火）、鳥取市において北東アジア地域（日本国鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県）の大学教授など約30名が集まり、北東アジア地域大学教授協議会が設立されました。

この協議会は、大学としての独立性を確保しつつ、地方政府サミットと連携・協力しながら「北東アジア地域の総合的研究」を共同主題とし、(1) 環境と資源 (2) 観光と交流 (3) 政治と経済 (4) 歴史と文化 (5) 教育と人材養成 の5領域を重点として共同研究を推進して、同地域の発展に寄与しようとするもので、今年度第6回を迎える同協議会が4月3日（火）鳥取市で開催され、「International Exchange by Construction of The Wooden Building in Vladivostok」、「Consideration on the Process of Realizing Transportation System by the Local Community in Rural and Mountainous Area of Western Tottori」と題し、建築学科・玉井教授、一般科目（社会）・加藤准教授がポスター発表を行いました。午後からの学長会議には、齊藤校長等も参加し、多国間交流の重要性、留学生交換など人的交流の推進、産官学交流拡大、そして共通テーマの設定など、熱心な意見交換が行われました。



玉井教授



加藤准教授



学長会議

## ● 平成24年度行事予定(前期) ●

4 月				5 月				6 月				7 月				8 月				9 月			
1 日	↑			1 火				1 金	↑			1 日				1 水	木曜授業	1 土					
2 月	↓	春季休業		2 水				2 土	↓	高校総体		2 月				2 木	前期期末試験	2 日					
3 火				3 木	憲法記念日			3 日				3 火				3 金	前期期末試験	3 月					
4 水		始業式		4 金	みどりの日			4 月				4 水				4 土		4 火					
5 木		入学式		5 土	こどもの日			5 火				5 木				5 日		5 水					
6 金		修学ガイダンス(1年のみ)		6 日				6 水				6 金	臨時休業			6 月	前期期末試験	6 木					
7 土				7 月				7 木				7 土	↑	高専大会(夏季)		7 火	前期期末試験	7 金					
8 日				8 火				8 金				8 日	↓			8 水		8 土					
9 月	↑	新入生オリエンテーション(1年のみ)		9 水				9 土				9 月	臨時休業			9 木		9 日					
10 火	↓			10 木				10 日				10 火				10 金	第1回オープンキャンパス	10 月					
11 水		修学ガイダンス(1年のみ)		11 金				11 月				11 水				11 土		11 火					
12 木		修学ガイダンス(1年のみ)		12 土	対松江高専定期戦			12 火	前期中間試験			12 木				12 日		12 水					
13 金				13 日				13 水	前期中間試験			13 金	↑	保護者懇談会		13 月		13 木					
14 土				14 月				14 木	前期中間試験			14 土	↓			14 火		14 金					
15 日				15 火				15 金	前期中間試験			15 日				15 水		15 土					
16 月				16 水				16 土				16 月		海の日		16 木		16 火					
17 火				17 木				17 日				17 火		月曜授業		17 金		17 月	敬老の日				
18 水		開校記念日(通常授業)		18 金				18 月	前期中間試験			18 水				18 土	全国高専体育大会	18 火					
19 木				19 土				19 火				19 木				19 日	全国高専体育大会	19 水					
20 金				20 日				20 水				20 金				20 月		20 木					
21 土				21 月				21 木				21 土				21 火		21 金	秋分の日				
22 日				22 火				22 金				22 日				22 水		22 土					
23 月				23 水	避難訓練			23 土				23 月				23 木		23 日					
24 火				24 木				24 日				24 火				24 金		24 月	補講				
25 水				25 金				25 月				25 水				25 土	全国高専体育大会	25 火	補講				
26 木		健康の日		26 土				26 火	球技大会・社行会			26 木				26 日	全国高専体育大会	26 水	補講				
27 金				27 日				27 水				27 金				27 月		27 木	補講				
28 土				28 月				28 木				28 土				28 火		28 金	特別日課キャンパス・グリーンデー				
29 日		昭和の日		29 火				29 金				29 日				29 水		29 土					
30 月		振替休日		30 水				30 土				30 月				30 木		30 日					
				31 木								31 火				31 金							

## 新年度にあたって

専攻科長 機械工学科 大塚 茂

今年度より新たに専攻科長を拝命致しました機械工学科の大塚茂です。どうぞよろしくお願い致します。今年の5月に本校の2つの教育プログラム(複合システムデザイン工学プログラム、ならびに建築学プログラム)が、「日本技術者教育認定機構(JABEE)」より正式に認定を受け、米子高専におけるエンジニアリングデザイン教育の質の高さが保証されることと成りました。また、これを受け今年度の専攻科における重要課題は、昨年度に続き「学位試験全員合格」の達成を継続し、JABEEプログラム修了生として輩出することとしています。

4月の入学式で27名(うち女子学生1名)の新入学生を迎え、専攻科学生数は2年生とあわせ52名(内女子6名)となっています。新年度になり、4月27、28日に高松市で開催された中国・四国地区高専専攻科生研究交流会には、本校より24名の専攻科学生が参加し研究発表を行いました。また、6月14日には「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYSプログラム)」の一環として本校にインド訪日団を迎え、ものづくり体験などを通し専攻科学生との国際交流の輪を拡げる予定となっています。

科長補:山口(M)、小川(C)、藤木(A)



平成24年度専攻科担当スタッフ

## 「平成24年度中国・四国地区専攻科生研究交流会を通して」

米子高専 物質工学専攻2年 渡邊 健太

平成24年度中国・四国地区高等専門学校専攻科生研究交流会が、4月27、28日の二日間にわたり、香川県高松市の高松テルサにて開催されました。この交流会は、中四国の13高専の専攻科生が集い、各高専の実行委員が主体となって自主運営されており、日ごろの研究の成果を発表しあい、意見交換を行うことにより、今後の研究活動をさらに発展させるとともに他高専の専攻科生との交流を深めることを目的としています。

本年度は400名以上の参加があり、5部門で299件の口頭発表とポスター発表が行われ、米子高専からは専攻科生24名が参加しました。交流会では参加した学生が活発に議論を交えている場面が印象に残りました。他高専の専攻科生と触れ合うことで、改めて自らの研究や発表方法などを見つめ直す良い機会にもなったと思います。私は交流会の後の親睦会で研究以外の情報交換も行うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回の経験がこれからの研究や学会発表で活かされればと思います。最後に、専攻科交流会に参加して頂いた米子高専教職員の皆様、ならびに発表準備にご協力頂いた先生方に厚く御礼申し上げます。



平成24年度中国・四国地区専攻科生研究交流会開会式



各講演室における研究発表の様子

## グローバル化時代の高専教育に向けて

校長 齊藤 正美

皆さんはJABEEという言葉を知っていますか。高学年や専攻科の学生諸君は知っているはずですが…。これは、日本技術者教育認定機構(Japan Accreditation Board for Engineering Education)の頭文字を連ねた言葉です。何をする機関かと言いますと、国際的に通用する技術者の育成、それに必要な教育の質保証などの社会的ニーズを背景に、高等教育機関(大学、高専等)の技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府組織(NGO)のことです。高等教育機関における学士および修士レベルの技術者教育プログラム(学科、コース、専攻単位教育課程)の質が保証されているかどうかを認定することによって、教育の改善を推進するとともに、教育プログラムの国際的な通用性を担保することを狙いとしています。

米子高専では、昨年秋に「4、5学年+専攻科教育課程」が「複合システムデザイン工学プログラム」及び「建築学プログラム」として審査を受け、本校の技術者教育課程が国際的水準を十分満たすとの正式認定を受けました。つまり、米子高専の教育内容が国際的に通用するものであるということを証明してもらったと言うことです。

この認定を機に、本校では産業社会のグローバル化に向け、一層の教育改善を図るつもりですが、語学教育の充実と国際性の涵養がその柱になります。TOEICの全員受験や英語教育の充実、海外の大学との交流協定の締結、学生や教員の国際交流活動の活性化などを考えています。今後とも、学生諸君には一層の誇りと希望をもって勉学に励んで下さい。

## 編集後記

彦名通信は、在校生の保護者を主な対象とした広報誌です。学生の日常の様子、クラブ活動・各種行事の様子、本校の研究・地域貢献活動等について、お伝えしていきたいと考えております。紙面へのご意見・ご感想を、メール(hikona@yonago-k.ac.jp)にてお寄せください。

今年度の編集委員は酒井(G科)、田原(C科)、田中(E科)の3名で、年4回発行予定です。

※記事において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、

G…一般科目、S…専攻科

例えば、「1M」は機械工学科1年生を表しています。

## 発行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029 印刷：株式会社高下印刷  
E-mail: hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/ ⇒メニューより「キャンパスライフ」